

事業所名

児童発達支援センターポッポ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

3 日

法人（事業所）理念		(理念) 「共に生きる」社会の実現 (理念と基本方針を表現したフレーズ) 「共生を目指す創造的実践」					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 発達に心配のある子どもや障がいのある子どもに療育を提供し、成長・発達を支援していきます。子ども集団（6名～8名）の中での育ちあいを大切にして、豊かな人間関係を培う療育を行います。 保護者に対し、障がいや子育てについての必要な知識や情報を提供するとともに、保護者同士が語り合える場をつくることを通して、家族の子育てを支援します。 子どもや家族を取り巻くいろいろな関係機関、地域との連携をとりながら支援していきます。また、相談機関として機能し、地域のネットワークづくりを目指します。 					
営業時間		8 時	45 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 給食（おやつ）の準備やトイレ、衣類の着脱等を自分からやってみたくなるように関わり、見守りながらサポートします。 給食は一人ひとり食事形態や食具、椅子を工夫し、「みんなで食べる給食っておいしい」という気持ちをもてるように配慮します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 体をたっぷり使う遊びを通して、“できた”喜びと手ごたえを積み重ねます。 園庭や公園の遊具、室内ではトランポリンや大きなすべり台、吊りブランコ等、夏には水遊びを楽しみます。また、感触あそびや製作にも取り組み、手先を調整したり、道具を操作したりする経験を積んでいきます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 子ども自身が“わかった”と感じられるように発達段階や特性に合わせて伝え方を工夫します。また、必要に応じて活動の見通しをもてるように具体物を見せながら説明をする等の配慮をします。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 職員との楽しいやりとりや遊びの中で、人への期待感を高め、子どもの“伝えたい思い”があふれるように関わります。 子どもが伝えてくれた思いに共感し、やりたいことをかなえていくことで伝わった嬉しさをたっぷり感じられるようにします。うまく表現できなくても、職員がくみとって代弁したり、伝え方のモデルを示したりしていきます。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの好きな遊びを大人も一緒に楽しみながら、“嬉しい”“楽しい”気持ちを交わしていくことで、信頼関係を深めていきます。 伝えてくれた思いや要求を受けとめ、共感したり、かなえたりします。 友だちと遊び合う楽しさを感じられるように、大人が間をつないだり、やりとりのお手伝いをしたりします。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 保護者グループや面談、子育て講演会を通して子どもの共通理解をすすめます。 言語聴覚士・心理士等による個別相談を行います。 保護者の方同士で交流できる機会を提供します。 きょうだい児同士が知り合えたり、きょうだい児をもつ保護者同士が語らう場として「きょうだいのつどい」を実施します。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 移行先の保育園や幼稚園等と情報共有を行い、新しい環境でも安心して通えるように支援します。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて関係機関と連携し、情報を共有したり、相互に支援の方向性を確認したりします。 事業所（児発・放デイ）への訪問支援を行い、顔の見える関係づくりを図るとともに各事業所における質の向上をサポートします。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> より質の高い療育を提供するため、職場（法人）内や外部主催の研修から積極的に学び、支援についての理解を深めます。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 七夕やおもいほり、遠足やクリスマス会等、季節に応じた行事を行います。 春や秋には外遊びをはじめ、夏には水遊び（プール活動等）をたっぷり行う等、五感を刺激する季節に合わせた活動を行います。 					